

‘Imagine’ ワークシート集

Activity 5

ジョン・レノンは、身近な‘違い’が「差別」につながれば、Imagine の歌詞の中にもある **heaven** や **hell** を地球上に作ってしまうのだと訴えています。下の語群から適した語句を表に書き入れながら、身近にある‘違い’について考えてみましょう。

| いずれかに○→             | heaven? hell? | heaven? hell? |
|---------------------|---------------|---------------|
| sex (性別)            | male          | female        |
| color of skin (肌の色) |               |               |
| wealth (富)          |               |               |
| religion (宗教)       |               |               |
| handicap (障害)       |               |               |
| place (場所)          |               |               |
| place (場所)          |               |               |
| Your Ideas          |               |               |
| Your Ideas          |               |               |
| Your Ideas          |               |               |

語群

- |            |                   |              |             |
|------------|-------------------|--------------|-------------|
| [ black    | [ rich            | [ urban area | [ Christian |
| [ white    | [ poor            | [ rural area | [ Muslim    |
| [ western  | [ ordinary people | [            | [           |
| [ oriental | [ disabled people | Your Ideas   | Your Ideas  |

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

check

**Activity 6** 皆さんは‘違い’に気付いた時、どのように感じましたか。‘違い’を経験したときのことについて、クラスメイトに英語で紹介しましょう。

<例> <違いから学ぼうとする例> **Bill: When I traveled in Japan, I enjoyed Japanese food a lot. It was beautiful, healthy, and not very expensive.**

<違いを非難しようとする例> **Dan: When I traveled in Japan, I was often told to take off my shoes before entering a house or building. It was very inconvenient.**

**Activity 7** <グループワーク> **Imagine** の歌詞を参考にして、クラスメイトへのメッセージを作りましょう。

<例> **Imagine all the students cheering our baseball team.  
Let's go to the ballpark!**

Imagine all the students \_\_\_\_\_.

Imagine all the students \_\_\_\_\_.

Imagine all the students \_\_\_\_\_.

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

check

**Activity 11** ここでは身近な人たちに目を向けてみましょう。家族や兄弟でさえ、様々な‘違い’があります。また、それ以上に‘共通点’もたくさんあります。違いと共通点の両方を受け入れて、お互いを尊重したいものです。

クラスメイトに簡単な質問をして、共通する点と異なる点を見つけましょう。

<グループ・ワーク>

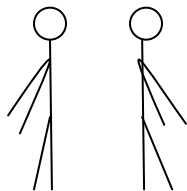
<例>を参考にして、二者択一の疑問文をできるだけたくさん作りましょう。

<例> Which do you like better for breakfast, rice or bread?

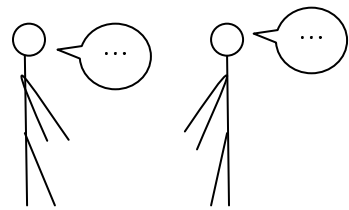
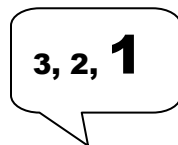
Which do you prefer to do on your holidays, stay with your friends or stay with your family?

Which is more important for you , an art museum or a library?

**Activity 12** <ペアワーク> **Activity 11**で作った質問文を教師が読み上げます。振り向きざまに、大きな声で自分の答えを言いましょう。



背中合わせに立つ



教師の「One」で、同時に向かい合って答えを言う

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

check

**Activity 13**

<Brainstorming> クラスメイトとの **Activity 4** で、どんな共通点、あるいは相違点を発見しましたか。また、それにより、感じたこと、気付いたことを日本語で自由に書いてみましょう。この後の頂上タスクで役立ちます。

**曲の背景を知ろう**

2002年9.11米同時テロの後、「IMAGINE」と同様、平和を求める曲として様々な場面で流されました。この曲は単なるクリスマス・ソングではなく、世界中の誰もが争いをやめてクリスマスを祝おうという、ジョンのメッセージがこめられています。1969年に結婚したジョンとヨーコは、男と女、西洋と東洋、公人と個人、労働階級と上流階級（ヨーコは財閥の令嬢）といった違いは無意味だと訴えています。

この曲の出だし（相当ボリュームを大きくしないと聞こえません！）には、**Happy Christmas Kyoko / Happy Christmas Julian** とあります。**Kyoko** と **Julian** は、それぞれヨーコとジョンが、以前の結婚相手との間にもうけた子供の名前です。クリスマスや新年にも子供たちに思うように会えないというもどかしさが感じられませんか。

この曲の副題に **War is Over**（戦争は終わった）とありますが、当時はベトナム戦争(1960～1975)が激しさを増していました。反戦運動に身を投じたジョンは、平和を訴える楽曲の数々を世に残していますが、「人種も容姿も関係なく、差別をなくそう」「この世界にはあまりにも間違いが多い。さあ、すべての争いをやめよう」というジョンの想いは、現在でも多くの人々へ受け継がれています。

<ジョンの反戦三部作> **Give Peace a Chance**  
**Imagine**  
**Happy Xmas**

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

check

**Activity 14** 小野ヨーコとはどんな人でしょうか。1~15の各文のあとに続くものを(ア)~(ツ)から選んで、時間順に書かれたヨーコのプロフィールを完成させましょう。

1. Yoko was born ( )
2. In her childhood, Yoko experienced envy and bullying ( )
3. She lived in the US, ( )
4. She lived through the fire bombing ( )
5. Yoko majored in philosophy ( )
6. Yoko became an avant-garde artist ( )
7. In 1966, Lennon went to a gallery in London, ( )
8. John was very interested in her work, ( )
9. On March 20th, 1969, ( )
10. They collaborated in writing music, ( )
11. They began public protests ( )
12. They gave birth ( )
13. Yoko was together with John until he was murdered ( )
14. Yoko created the Strawberry Fields memorial in New York City ( )
15. Yoko has been active ( )



- (ア) at Gakushuin University.
- (イ) as a memorial to her husband's early death.
- (ウ) to their son, Sean.
- (エ) of Tokyo in 1945.
- (オ) by supporting each other's individual artistic style.
- (カ) into a wealthy family in Tokyo in 1933.
- (キ) because her family belonged to the upper class.
- (ク) because her father worked there.
- (ケ) against the Vietnam War with campaigns and music
- (コ) where Yoko was preparing her conceptual art exhibit.
- (カ) who explored new and experimental ideas and methods in art.
- (シ) Yoko married John.
- (ス) but Yoko didn't know who he was.
- (セ) in various peace and environmental movements.
- (ツ) by a mad fan in December 1980.

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

check

‘What a wonderful world’ ワークシート集

5<sup>th</sup> period

**Activity 18** What a Wonderful Worldを聴きながら、イメージを膨らませてみましょう。

① A Wonderful Worldにあるもの、あるべきものを8つ書き出してみましょう。

|  |                   |  |
|--|-------------------|--|
|  |                   |  |
|  | A Wonderful World |  |
|  |                   |  |

② 「make または help + 人 + 原型不定詞 (人に...させる)」の文型を使って①の内容を英語で表現してみましょう。

〈例〉 Proper food helps people live long.  
Music makes people feel happy and relaxed.

**Activity 19** 今度は逆に A Wonderful Worldにはあるべきではないものを8つあげてみましょう。

|  |                   |  |
|--|-------------------|--|
|  |                   |  |
|  | A Wonderful World |  |
|  |                   |  |

3~4人のグループで、それぞれの意見を紹介し合ひましょう。また、それらがどのように関係し合っているのかも話し合い、要点をメモしましょう。

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

check

**Optional Activity** ミニ・スピーチの発表に備えましょう。練習方法を紹介します。

- 1回目 意味・内容を確認しながら、ゆっくり音読する。
- 2回目 強調したい語句をマークし、それらを意識して音読する。
- 3回目 語りかけるように音読する。
- 4回目 一行ずつ「音読」し、顔をあげて言ってみる (Look up and Say)。
- 5回目 チラッと1文(または1フレーズ)見たら顔をあげて言ってみる。
- 6回目 少しスピードをあげて、本番をイメージして練習する。

必要に応じて、繰り返し練習しましょう。20分でかなりイイ線まで行くはずですよ。

**Evaluation (例)** 3~6人のグループで行う相互評価です。クラスメイトからの評価を読んで、自己評価もしてみましょう。

.....キ.....リ.....ト.....リ.....セ.....ン.....

※2~5枚配られます。

Evaluation Sheet (2つ良い点をほめて、1つアドバイスを書いてください。)

Classmate's Name ( ) ← Your Name ( )

.....キ.....リ.....ト.....リ.....セ.....ン.....

Self-evaluation (自由筆記)

Class No. Name \_\_\_\_\_

check

**Optional Activity**

3曲のうちお気に入りの1曲を、メッセージをかみしめながら歌いましょう。

- 1回目 CDを流しながら、つぶやいてみる
- 2回目 CDを流しながら、歌ってみる（気を付ける部分にマーカー）
- 3回目 CDを流しながら、歌ってみる（この時、歌詞の意味を意識する）
- 4回目 一行ずつ「音読」→「Look up and Say」
- 5回目 CDを流しながら、チラッと一行見たら顔をあげて歌ってみる

必要に応じて、繰り返し練習しましょう。15分でかなりイイ線まで行くはずですよ。

クラス全員で大きな声で歌ってみるのもいいでしょう。

自己評価シート

|                       |   |   |   |   |   |
|-----------------------|---|---|---|---|---|
| 意味を理解して歌えるようになった      | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 連結や脱落に注意して歌えるようになった   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イメージを頭に描きながら歌えるようになった | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 気持ちよく歌えた              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

この教材を使っの英語授業について自由にコメントをお書きください。

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

check